

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 77

27.7.25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505



放課後子ども教室（市立南小学校）

放課後子ども教室とは放課後に地域のボランティアに見守られながら、子ども達が元気に安心して過ごせる居場所を提供するものです。昔遊びや軽運動などを通じて、地域の方や年齢の違う子ども達がいっしょになって思いっきり遊びます。市内4つの小学校で放課後子ども教室が開催されています。

担当課：小千谷市生涯学習スポーツ課（生涯学習係）

所在地：〒947-0035 小千谷市大字桜町4915番地

電話：0258-83-0077 Fax：0258-83-0078

- 第1回臨時会議決結果 … P 2
- 第2回定例会議決結果 … P 3
- 常任委員会報告 …………… P 4
- 一般質問 …………… P 4～8
- 第3回定例会開催予定他 … P 9
- 議会日誌 …………… P 10
- 雪あかり、編集後記 …… P 10

— 主な掲載内容 —

第1回臨時議会 議決結果

5月12日に開催され、正副議長
の選挙、議会構成の決定、専
決処分承認等が行われました。

議会構成等

議長 久保田 久栄

副議長 田 中 淳

総務文教委員会



委員長
本田 剛



副委員長
阿部 正行



森本 恵理子



駒井 和彦



佐藤 栄作



内山 博志



長谷川 有理



田中 淳

民生産業委員会



委員長
久保田 陽一



副委員長
佐藤 隆一



住安 康一



大矢 弘光



上村 行雄



山賀 一雄



久保田 久栄



風間 順一

議会運営委員会

委員長 山賀 一雄

副委員長 内山 博志

住安 康一、駒井 和彦、

久保田陽一、本田 剛、

風間 順一

▽魚沼地域特別養護老人ホーム

組合議会議員 田中 淳

▽新潟県後期高齢者医療広域連

合議会議員 久保田陽一

▽農業委員会委員

長谷川有理、阿部正行

就任あいさつ



議長
久保田久栄

議員各位のご推挙によりまし
て市議会議長に就任いたしました
。身に余る光栄であり、その
責任の重大さを痛感し、身の引
き締まる思いでございます。

地方分権の推進は、国と地方
の役割分担の見直しや権限と財
源の移譲など、大きな変化の時
代を迎えております。

今年、地方創生元年と位置
づけられ、人口減少問題や少子
高齢化対策、医療福祉対策、防
災対策など課題が山積しており
ます。地域の実情に応じてその
役割を適切に発揮できるよう、

議会の権能強化に努め、今後と
も市民に開かれた議会として市
民福祉の向上と市政の発展に誠
実、公正な運営を旨とし、最善
の努力をいたす決意ございま
す。

議員各位、市民の皆様の大
なるご支援、ご鞭撻を賜ります
ようお願い申し上げます。就任の
挨拶といたします。



副議長
田中 淳

5月12日の臨時市議会におき
まして、議員各位から副議長に
推挙を賜りまして、その責務の
重大さに、身の引き締まる思い
であります。戦後70年にあたり、
いま本市を取り巻く環境は、高
齢化社会に起因する過疎化、人
口問題等、かつてないほど厳し
い状況におかれております。

他方、安心して暮らせるため
の医療や福祉の確保等、大きな
課題も動き出しております。

さて、このたびの選挙で当市
議会は、今までになく、若い議
員が市民の負託を頂きました。

従来の慣例にとられずに工夫
を重ね、市民目線の有効な政策
を提言しながら、議会の活性化
に努めてまいりたいと存じます。

もとより浅学非才な身ではあ
りますが、市民の皆様信頼さ
れる議会を目指してまいります
です。皆様にはご指導、ご協力
をお願い申し上げます。就任の
挨拶といたします。

その他

○専決処分（小千谷市税条例等の一部改正）（全会一致）
 ○専決処分（小千谷市都市計画税条例の一部改正）（全会一致）

○専決処分（小千谷市国民健康保険条例の一部改正）（全会一致）

○専決処分（小千谷市介護保険条例の一部改正）（全会一致）

○専決処分（平成26年度小千谷市一般会計補正予算（第8号））（全会一致）

○小千谷市監査委員（風間順一氏）の選任（全会一致）



議員永年表彰者

全国市議会議長会
議長4年表彰 風間 順一

第2回定例会 議決結果（6月8日から6月26日まで開催）

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
条 例	議案第34号	小千谷市職員の再任用に関する条例の一部改正	全会一致	原案可決
	議案第35号	小千谷市行政財産の目的外使用条例の一部改正	〃	〃
予 算	議案第36号	平成27年度小千谷市一般会計補正予算（第1号）	〃	〃
その他	議案第37号	契約の締結〔市民の家・水力発電記念館（仮称）（建築主体）新築工事〕	〃	〃
	議案第38号	財産の取得〔特殊消防ポンプ自動車〕	〃	〃
	議案第39号	人権擁護委員候補者の推薦〔木村和子氏〕	〃	同 意
請 願	請願第1号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出を求める請願	みなし	採 択
	請願第2号	「安全保障関連法案」の廃案を求める請願	賛成少数	不採択
発 議	発議案第2号	TPP交渉に関する意見書	全会一致	原案可決
	発議案第3号	安全保障関連法案は国民的議論をふまえ、今国会での成立にこだわることなく徹底審議を求める意見書	賛成少数	否 決
	発議案第4号	労働者派遣法改正法案の徹底審議と雇用の安定を求める意見書	〃	〃
	発議案第5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	全会一致	原案可決

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択または不採択されたものとみなします。

議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	森本恵理子	住安康一	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	上村行雄	内山博志	佐藤隆一	長谷川有理	阿部正行	久保田陽一	山賀一雄	田中淳	本田剛	久保田久栄	風間順一
請願第2号	不採択	3	12	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	—	×
発議案第3号	否決	5	10	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	—	×
発議案第4号	〃	5	10	○	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	—	×

※○は賛成・×は反対・議長（久保田久栄）は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

本委員会に付託されました議案3件の内、2件は総務文教委員

員会単独で、1件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願2件については、1件は採択すべきものと決し、1件は採択しないものと決しました。

○議案第34号 小千谷市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、共済年金と厚生年金の統一のための法律改正に伴い、条例の中で引用している法律を改めるものです。

○議案第35号 小千谷市行政財産の目的外使用条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、電気通信事業法施行令の改正に伴い生じた引用する条のずれを改めるものです。

○議案第36号 平成27年度小千谷市一般会計補正予算(第1号)について

今回の補正は、歳入歳出それ

ぞれ311万1千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ175億2688万9千円とするものです。

○請願第1号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出を求める請願

本請願は、少人数学級を推進、30人以下とすること。教育の機会均等と水準の維持・向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元することを求める意見書を国の関係機関に提出していただきたいとするものです。採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決しました。

○請願第2号 「安全保障関連法案」の廃案を求める請願

本請願は、「安全保障関連法案」を廃案にするよう、政府に意見書を提出していただきたいというものであります。採決の結果、賛成少数で採択しないものと決しました。



市政の内容を聞く

一般質問

地方創生「総合戦略」と都市公園について

風間 順一 議員

重要。市政懇談会での意見も参考にしたい。対象を若い世代に絞った意見交換会を予定している。公民館との連携も検討したい。

○質問 産業界、金融機関、大学、メディアなど民間との連携は。

○答弁 総合計画審議会の委員には、市民の代表や様々な分野から参画している。危機感を共有し、推進体制の一員もお願いしたい。

○質問 地域おこし協力隊との連携、取り組みについて。

○答弁 若者の定住や地域活性化を目的としていることから、協議を重ね効果的に対応したい。

○質問 市議会との連携について。

○答弁 議会と行政が両輪となって推進することは重要。骨子案が整った段階で説明をしたい。具体的なアイデア等を担当課までお寄せいただきたい。

○質問 都市公園については、子ども達を遊ばせるには不十分なものが多くが整備については。

○答弁 物理的にも財政的にも課題がある。意見の内容を具体的に把握し、今後検討したい。

○質問 公園のトイレの洋式化は。

○答弁 管理団体との協議の場などを活用しニーズを把握し、必

要件について検討したい。



都市計画事業と都市計画税について

山賀 一雄 議員

○質問 都市計画道路整備についてどのように取り進むのか。

○答弁 本町小栗田線の未整備区間は、県が街路事業として行うことが内定している。東栄元中子線の未整備区間は、用地の取得と物件補償を進める予定である。城内桜町線の歩道整備については、引き続き地権者の同意を得るよう努力する。

○質問 経過年数や社会環境の変化により見直しが必要な都市計画道路があるのではないか。

○答弁 県の見直しガイドライン

に基づき、見直しの必要があると判断した路線について、交通量調査を行い、見直しに関する検証を行う予定である。

質問 茶郷川改修事業を都市計画事業として取り組む考えがあるか。

答弁 現時点では、改修の方向性、手法、施工箇所等を具体的に議論できる段階ではない。今後の進め方については、県とも協議しながら検討する。

質問 東小千谷地区に予定している防災公園を都市計画事業として取り組む考えがあるか。

答弁 現在、国や県と交付金の活用などについても協議しており、対象要件で都市計画事業として行われなくてもよいことから、都市計画事業としてのメリットは大きくない。

質問 都市計画税の取り扱いはどうか。

答弁 直接的には充当しない扱いと答弁したことは、過去の都市計画税に対し、都市計画事業の総事業費が上回っていることからのもと考えている。

質問 都市計画税課税区域の見直しについてどのように考えているか。

答弁 課税区域の在り方について、検討してきたが結論に至っていない。引き続き検討すべき課題と考えている。

望ましい食習慣の普及等に取り組んでいる。また、中学3年生を対象にしたアンケートにより、喫煙の害についての認知度が上がっていることを把握済み。

質問 都市計画区域を拡大する考えがあるか。

答弁 課税区域については、地方税法との関わりもあり、拡大の判断は慎重にならざるを得ないが、議員の提言を踏まえ検討を進めたい。

がん対策・子育て環境に関して

森本 恵理子 議員

質問 がん対策に関して

質問 当市におけるがん対策の成果と今後の課題について

答弁 各種がん検診の拡大・実施により、早期発見など一定の成果があった。食習慣の改善、普及啓発を行っていく。

質問 働く世代へのがん対策について

答弁 日曜日、早朝などの検診を行っている。また、40歳以上の働き盛り世代に向けて、5年毎に検診自己負担金の無料化を行っている。

質問 がん教育の取り組みとその成果について

答弁 乳幼児健診などを通じ、

望ましい食習慣の普及等に取り組んでいる。また、中学3年生を対象にしたアンケートにより、喫煙の害についての認知度が上がっていることを把握済み。

質問 当市において喫煙率の減少は少なく、女性においては増加傾向にあるが、喫煙率を下げ

答弁 女性に関しては子どもに対する影響が大きいことから、妊娠届時や妊婦対象の訪問指導などで禁煙を呼びかけている。

質問 子育て環境に関して

質問 病児保育導入の必要性の認識と新病院への働きかけについて

答弁 病児保育は一定のニーズがあることが予想され、環境整備は重要であると考えている。平成25年3月に病児・病後児保育施設の整備について新潟県厚生連に要望したが、設置する考えはないとの返答。今後、様々な課題を整理し、同施設の設置に向けて検討したい。

再生可能エネルギーと省エネルギーについて

佐藤 隆一 議員

質問 小千谷市は、エネルギー

答弁 国策は指摘しておりますが、再生可能エネルギーは、地域の可能性や国の動向を見ながら検討したい。

質問 太陽光パネル設置家屋の10年間の推移について。

答弁 平成23年度にモニター調査を行いました。一般社団法人太陽光発電協会によれば、69件です(平成26年12月末現在)。

質問 これまで小千谷市が設置した再生可能エネルギーの種類と設置数について。

答弁 太陽光発電と風力発電を3箇所に設置(片貝総合センター、小千谷小学校、小千谷市庁舎)。

質問 小千谷市の持つ再生可能エネルギーの可能性は。

答弁 小水力、バイオマス発電などの可能性を秘めており、地中熱、ペレットボイラーの研究、開発も進んでいる。

質問 普及が進まない原因は。

答弁 冬季の積雪や採算面での問題があります。

質問 普及の施策について

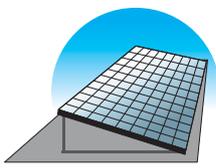
答弁 設備設置の補助金や買取価格制度は有効であり、住宅リフォーム補助でパネル設置に助成しています。

質問 省エネルギー施策の基本認識と市の施策について。

答弁 東日本大震災以降は、必要不可欠な事項となっており、一人ひとりが具体的な取り組みに参加することが重要と考えます。市としては、消防庁舎や市役所庁舎のLED化や太陽光発電による防犯灯の設置、ノーマイカーデーなどに取り組んでいます。

公園の整備と空き家対策と総合戦略

住安 康一 議員



質問 高齢者や障がい者目線、特にバリアフリーを考慮した公園の点検整備が必要では、また、公園を利用する際は、駐車場が必要であり、新設や整備が必要

である。

である。

と考えるが。

答弁 市が管理する公園の現状は、一部を除きバリアフリーに対応していません。緊急性や投資効果を見極めながら、安心して利用いただける公園の整備について検討していきたい。



少しの段差でも大変

質問 当市における空き家等対策計画の策定のための協議会（プロジェクトチーム等）の立ち上げに関して、メンバー及び時期は。そして、条例等の完成予定はいつになるのか。

答弁 計画の策定については、調査や台帳作成など、予算措置が必要となることから、財政的な面を含めて検討し、年度内に方針を示したい。

質問 空き家対策は官民連携で効果が期待されるが、当市ではどのように推進するのか。

答弁 空き家バンク制度を設けているが、物件情報の充実が課題。今後、空き家等の情報を持つ宅地建物取引業者の加盟する団体等の民間団体との連携の可

能性について検討したい。

質問 空き家情報提供者への謝礼金制度について

答弁 謝礼金制度の導入は考えていない。市報等を通じ空き家バンク制度の周知に努めたい。

質問 総合戦略策定にあつては、様々な団体やサークルとの対話が必要では。また、計画や進捗をもっと市民に公開すべきでは。
答弁 幅広く意見を聞くことは大変に重要なことと認識。検討をしたい。市民への公開は、できる限り周知に努めたい。

新病院の建設状況と投票率上昇施策について

田中 淳 議員

質問 病院建設の現在の進捗状況をどう捉えているのか。

市長 平成28年7月に完成し、10月に新病院を開院予定の変更等は、現在のところ聞いていない。

質問 病院移設に関する地域要望と対応はいかに。

市長 地元町内会からの文書等による要望は聞いていないが、バス路線の要望は色々なところから病院に行けるよう要望を受

け、取り組んでいる。

質問 都市計画道路本町小栗田線の事業計画の進捗はいかに。

市長 今年度から街路事業として行うことが内定しており、現在、事業認可に向けて、国と協議を行っている。

質問 病院駐車場及び周辺道路の消雪パイプの計画予定は。

市長 駐車場は一部融雪で、併用で機械除雪も予定しており、そのため、堆雪場所が必要となり、建設用地約51,000㎡で土地収用法の事業認定を受けている。周辺の市道の消雪パイプの事業は今年度から整備予定。



質問 通常の投票所に向くことが難しかったり、判断能力が低下している有権者の投票をどうするか。一人家庭で投票所に

いけない方、投票できるという権利を行使できない方の対応策はいかに。

選管委員長 期日前投票の他、病院、老人ホーム、身体障害者支援施設などで条件を満たした指定病院等、また身体・介護の

状態により、郵便による不在者投票もできます。在宅でどうしても行けない方はNPOや福祉バス等の運行等検討されると思うが、施策としては今後の研究テーマと思っている。

観光PRとふるさと納税の謝礼について

上村 行雄 議員

質問 国内海外プロモーション事業の取り組み状況と具体的なアプローチ先や外国語版観光PRリーフレット作成の取り組み状況と訪日海外旅行者受入体制について。

答弁 国内については大都市圏へ、海外についてはアジア地域を念頭にPR活動を行いたい。

この秋、新潟県が台湾での観光見本市にブースを開設するので参加する予定。また、外国語版観光リーフレットは、英語と中国語の2か国語で作成を予定し

準備を進めている。錦鯉の里では展示物の説明に2か国語の表記を加え、施設職員の語学研修等で受入体制の整備を図りたいと考えている。

質問 Wi-Fiの環境整備状況について

答弁 6月より設備費の補助申請を受け付け、現在5件の申請をいただいている。

質問 市の魚、錦鯉と小千谷縮PR事業との連携について

答弁 情報を共有しながら相互に連携して相乗効果が発揮できるようPR活動に努めたい。



質問 ふるさと納税の寄附者への謝礼について

答弁 返礼品は、当市の特色を活かしたものを取り入れている。花火大会機敷席も含め、当市の

PRにつながるような返礼品を検討していく。また寄附金の使いみちについては、寄附者から希望する使いみちを選んでいただき、夢の架け橋基金に積み立て、寄附者が指定した分野の事業の財源として活用させていただいている。その使いみちについて市報及び市ホームページでお知らせしている。

小千谷市の国際交流について

久保田 陽一 議員

質問 現在までどのような国際交流を行い、活動団体に支援してきたのか。

教育長答弁 平成2年度に小千谷市国際交流、文化、スポーツ振興基金を創設し、国際親善を目的とした、文化・スポーツ等の交流事業や海外派遣・海外研修に対する補助を行った。対象交流事業は長年続いている小千谷国際交流の会によるアウトドア・パーティーやフレンドシップパーティー等。海外研修等の補助対象者は100名を超えている。

質問 語学留学生受け入れプログラムを全面的に支援すべきでない。

は。

答弁 当該団体が進めている活動については市民協働のまちづくりの観点から、活動団体の育成やまちづくり活動支援補助金の活用を含め、地域振興課にて関係者等と協議を行っており、可能な限り支援したい。

質問 地域振興課内に国際交流係を設置するべきでは。

答弁 設置は考えていない。市の国際交流への対応は、民間組織による交流を支援していきたいと考える。

質問 プログラムによる語学留学生の、学校行事を含めた教育への参加・交流が必要では。

教育長答弁 その価値は十分あると見え、今後、学校行事のねらいとプログラムの活用方法などを検討したうえで、実施に当たっては学校現場と協議する。

質問 オレゴン州など海外の都市との姉妹都市や友好都市の提携や協定の締結が必要では。

答弁 以前、オレゴン州コナーリアス市から姉妹都市の打診があったが、現時点では考えていない。



コーネリアス市使節団との交流パーティー

安全な通勤道路・子育て支援・原発について

内山 博志 議員

質問 市道山谷吉谷線（山谷・桜町間）の現状認識について。

答弁 市街地の混雑を避けて利用するため通行量が多い。

質問 今後も通勤者は増えることが予想されるが対策はどうか。

答弁 一番の危険箇所は城川9号線との交差点。ここを中心に市街地方面に歩道設置をしたい。

質問 本年度は測量・設計を準備している高校卒業まで医療費補助拡



市道山谷吉谷線(桜町地内)

充を当市も行う考えはあるか。

答弁 市長会として国にも要望している。県も交付金化を目指すという。小千谷市版地方創生総合戦略の一環として検討すべき項目と考えている。

質問 幼児、児童が近くで安心して遊べる場所を増やして欲しい。

答弁 「白山の児童公園」や「わんぱく」の充実、「木のこん」の支援を行っている。他に既存施設の情報提供に努める。遊び場の設置についてコミュニティセンターなど既存公共施設の利用や中長期のまちづくりで今後検討したい。

質問 柏崎刈羽原発再稼働について市民の声をどう認識するか。

答弁 反対の声がある一方、産業界からは賛成の声もあり、わからないという意見もある。原発政策は国策であり、国民的議論を尽くしたうえで国の責任で措置すべきと思う。

からならないという意見もある。原発政策は国策であり、国民的議論を尽くしたうえで国の責任で措置すべきと思う。

質問 知事が原子力規制委員会に「住民への防護対策」について要望しているがどう思うか。

答弁 高線量下での災害対応、ヨウ素剤配布、防護の財政措置など市の避難計画に大きくかわる。国・県と連携し進める。

質問 万全の避難計画の判断は。 **答弁** 国、県の指針に基づき実効性のあるものにした。

地域振興策、ワーク・ライフ・バランスは

駒井 和彦 議員

質問 市長の描く当市の5年後10年後のビジョンは。

答弁 人が元気、地域が元気に、まちが元気を目指す。第五次総合計画に反映させる。総合戦略も2040年の人口推計を見て、「まち・ひと・しごと」をキーワードとした実効性の高い政策中心の5ヶ年計画としたい。

質問 地域振興課は戦略的重要セクションか。

答弁 地方版総合戦略や第五次総合計画の目標実現のため、地

域振興に係る具体的戦略立案、その他部署、地域と連携し事業を推進する戦略的セクション。
質問 各種住民活動団体の支援について。

答弁 引き続き支援していくし、新たな団体育成に努めたい。

質問 山本山の周辺整備は。

答弁 引き続き検討していく。

質問 商工会議所がまとめた病院跡地活用に関する提言書評価、市としての計画は。

答弁 今後検討を進める上で参考としたい。市としての具体的計画案はない。今後各種団体代表者12名で構成する検討委員会

で今年度中に作成予定である。
質問 地方版総合戦略策定への議員参画と今後のスケジュール。

答弁 スケジュールは10月末までに策定したい。

質問 ワーク・ライフ・バランスについて

答弁 市では勤務時間の短縮、子の看護休暇拡大、短期介護休暇等やノー残業デー、夏季休暇に取り組んでいる。また職員の健康管理面でのサポートにも取り組んでいる。今後もワーク・ライフ・バランスのとれた生活を目指し、取り組みを進める。



市民の家・発電記念館、ふるさと納税について

阿部 正行 議員

市民の家・発電記念館

質問 両施設の連携について

答弁 12月の定例会まで大綱を出すので時間をいただきたい。

質問 この両施設を利用した社会教育について

答弁 青少年の健全育成や自然体験等考えられるので、J・Rや関係部局、団体と協議しボランティアの養成等を行いたい。



工事の始まった市民の家・発電記念館

質問 周辺施設との連携は

答弁 この施設は観光交流の拠点でもあり市内の様々な施設、団体と連携し相乗効果を高め人流人口を増加させたい。

質問 体育館の今後について

答弁 老朽化しているが利用状況をみながら検討したい。

ふるさと納税の利活用

質問 当市のスタンス、考えは

答弁 これはふるさとを応援したい、恩返しをと思う人達の心を実現させるための制度でありその趣旨に添い絵葉書等を返礼品として送っていたが、今年度から返礼品を拡充した。今後も産業振興やPRに努めおぢやファンを増やしたい。

質問 寄付者の寄付の理由は

答弁 寄付者からのメッセージには「小千谷出身のため」「東日本大震災で南相馬の方を受け入れ感動したため」といったものがあり、当市との関わりなど調査し取り組みに活用したい。

質問 小千谷ファンの拡大について

答弁 当市のガイドブック等返礼品に同封しているが日帰り旅行プランを加えたりして検討したい。

質問 PRについて

答弁 当市出身者の会等通じて周知拡大に努めたい。

特殊詐欺の防止、女性が輝く小千谷等について

長谷川 有理 議員

質問 当市で3件・総額895万円

の特種詐欺が発生した。医療、保健、福祉、教育、税務、警察等の連携が大切。連絡会議の設置を。

答弁 主体である警察と相談し設置を検討していきたい。

質問 消費者相談窓口は当市は火・木曜の午前のみ。他市のように拡大できないのはなぜか。

答弁 消費生活相談員の都合でその時間のみ。支障はない。

質問 相談や事件は氷山の一角。窓口時間の拡大、専門員の育成、研修を予算増で。啓発資料・講演会等活動強化すべき。

答弁 研修、啓発資料は今後充実させる。消費者協会と連携し当市でいまだ0名の消費生活サポーターの育成も検討する。

質問 年金機構の情報流失事件、他市市職員不正閲覧事件を受け当市個人情報保護は万全か。

答弁 ハード・ソフト両面で対

応。抜き打ち検査もしている。

質問 魚沼基幹病院(院内保育園・24時間保育)や厚生連(佐渡・上越・柏崎・新潟)の設置実績も鑑み院内保育園・病児保育を積極的に導入すべき。

答弁 厚生連に要望しているが考えがないと言われた。課題を整理し実現に向け検討する。

質問 女性課長、複数の女性市議が誕生した当市。審議会等により更なる女性登用を図るべき。

答弁 平成28年度35%当市登用の目標到達に向け努力する。

質問 昨年、8名の女子見学者がいた小千谷学生寮。女子入寮を確実に実現させるべき。

教育長答弁 女子入寮は小千谷奨学会で更に検討していく。

質問 女子入寮を拒否できる社会的根拠はないので実現を。

教育長答弁 風紀面・環境面で懸念。東京進学者優遇も課題。



小千谷学生寮(東京都杉並区)

市議会を傍聴してみませんか

第3回定例会開催予定

- 8月31日(月) 第1日 議案上程説明
- 9月1日(火)～9月4日(金) 各常任委員会で審査
- 9月15日(火) 第2日 一般質問
- 9月16日(水) 予備日 一般質問
(質問者が多い場合に開催)
- 9月18日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。
委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。
議会の日程は、市ホームページからご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。
本会議当日のライブ中継のほか、録画映像もご覧いただけます。
(録画映像は本会議終了後、通常、休日(土日・祝祭日等)を除く5日後から1年間ご覧いただけます。)
パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>



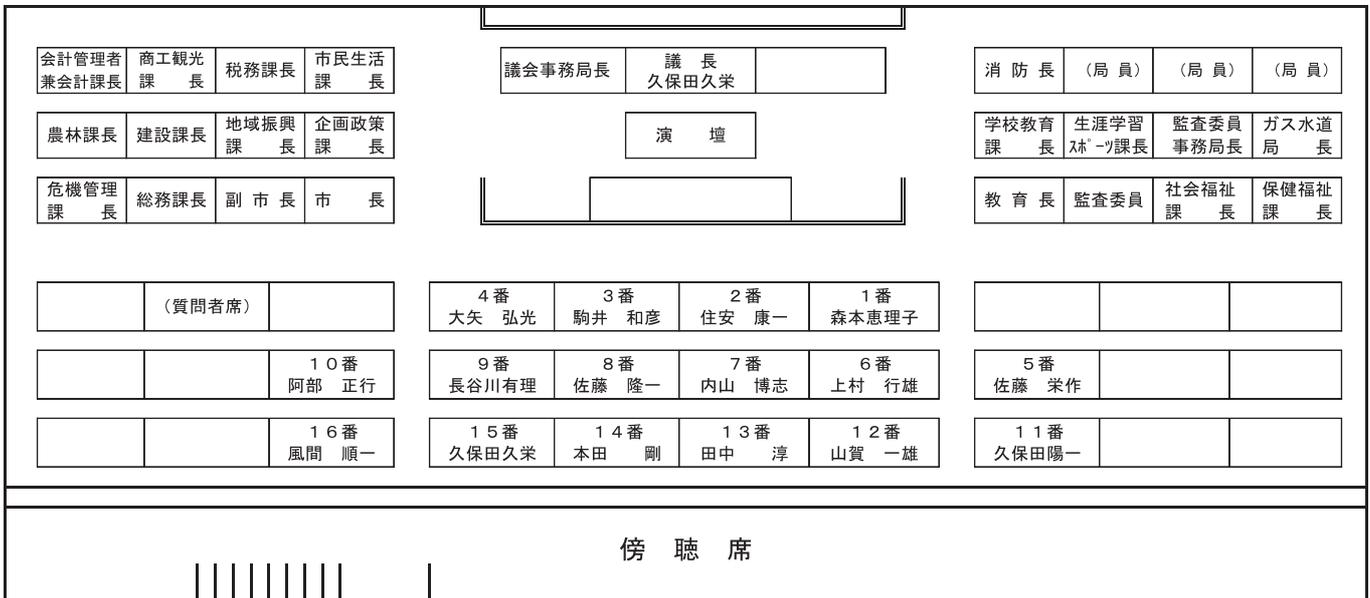
会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。
パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレットでもご覧いただけます。
(平成27年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。)
一般質問等の詳細はこちらをご覧ください。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp/>

小千谷市議会議場見取図

[自：平成27年5月12日]



入口

〈4月〉

2日 議会報編集委員会

7日 北信越市議会議長会定期総会（長岡市）

9日 議会報編集委員会

19日 市議会議員選挙告示日

26日 投・開票日

28日 議会運営委員会

議員協議会

議員協議会

〈5月〉

1日 新議員16人就任

議員打合せ会

8日 会派代表者会議

11日 会派代表者会議

12日 会派代表者会議

第1回臨時市議会

総務文教委員会

民生産業委員会

議会運営委員会

20日 新議員予算説明会

議員全員協議会

議員クラブ会

議員市内視察

議会報編集委員会

〈6月〉

1日 議会運営委員会

2日 県特別豪雪地帯市町村議会協議会定期総会（上越

市）

3日 上越新幹線活性化同盟会

総会（新潟市）

8日 第2回定例会（本会議）

議会報編集委員会

9日 常任委員会連合審査会

10日 総務文教委員会

11日 民生産業委員協議会

17日 全国市議会議長会定期総会（東京都）

18日 市民の家・発電記念館起

工式

23日 議会運営委員会

本会議（第2日）

24日 本会議（第3日）

議会報編集委員会

26日 議会運営委員会

本会議（第4日）

29日 柏崎港整備・利用促進協

議会通常総会（柏崎市）



59

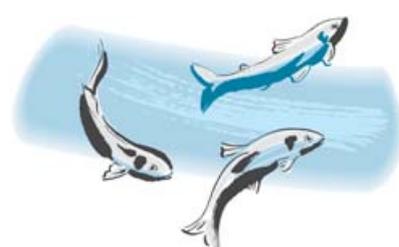


齊藤 まみさん (千谷)

「1%・・・この夏の私のキーワードとなっています。先日、鎌田實さんの文化講演会に行きました。講演の中では、鎌田先生の生い立ちや長野県諏訪中央病院での取り組み、そして健康でいきいきとした毎日を通すためのコツなど興味深く聴かせていただきました。そして医師として、チェルノブイリ原発汚染地域やイラクでの医療支援、東日本大震災後の被災者支援を現在も続けておられるそうです。講演の中で「1%を自分のためでなく誰かのために生きる」こと、そうすると生きるこの意味が明確になる、とのお話がありました。自身の日々を考え

てみると、まったく無意識ではつとしました。

また最近「100%好かれる1%の習慣」という本を読みました。著者はマナー講師をされている松澤萬紀さん。元客室乗務員歴12年という中で、お客様から学んだ人間関係の法則について書かれています。毎日の行動を「1%」だけ変えれば人生が変わるといふ具体的な事例がありました。めまぐるしく過ぎる日々の中で、少しだけ相手のために配慮することで人間関係、ひいては人生が地域が豊かになるのかなと思います。細き流れも大河となる、かもしれません。まずは気負わず習慣にしてみませんか。



編集後記

市議會議員選挙後の初の臨時会・定例会が終わりました。議事人事が決まり、新しい市議会だよりの編集委員も決まりました。新しい編集委員は次のとおりです。
編集委員長 長谷川 有理
編集副委員長 久保田 陽一
編集委員 森 本 恵理子
編集委員 住 安 康 一
編集委員 大 矢 弘 光
編集委員 佐 藤 栄 作
編集委員 内 山 博 志
この7名で、今後2年間、市民の皆様読みやすい市議会だよりをお届けできるよう精一杯努力してまいります。どうぞよろしく願います。
さて、今号より、議案の議決結果のほか、賛否の分かれた議案について議員賛否の状況を記載し、公表します。
また、輝く小千谷の未来を担う子どもたちに市議会だよりの表紙に登場してもらいます。
市民の皆様と議会のかけはしとしての市議会だよりになるよう、今後とも努めてまいります。ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せください。